

CSR



AOI NEON Co., Ltd.

Report 2014



CSR Report 2014

CSRレポート 2014 について

本レポートは、当社のCSR全般についての考え方や具体的な取り組みをステークホルダーの皆様にはわかりやすく開示するための報告書であり、2003年度に第1号（環境報告書）を発行し、以後毎年度継続的に発行するものです。

■アオイネオンのCSRをご理解いただくために、CSRの考え方を明確に表現するとともに、出来る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、取り組み事例を掲載しました。

■CSR活動をより具体的な形で開示するため、従業員のインタビューを掲載しました。

① 対象読者

お客様、お取引様、株主様、従業員、そして地域社会など、様々なステークホルダーの皆様。

② レポート対象範囲

アオイネオン(株)の全拠点（ただし、全項目について全事業所を網羅するわけではなく、テーマに基づいて代表的な事例を掲載しています。（数値データにはそれぞれの対象範囲を記載しています）

③ レポート対象期間

2013年度（2013年8月1日～2014年7月31日）とし、一部トピックスについては、それ以降の活動も掲載しています。

④ 発行時期

2014年12月（次回2015年12月予定）

⑤ 参考としたガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン」

環境省「環境会計ガイドライン」

ISO26000:2010

⑥ WEBサイトへの掲載

アオイネオンホームページでも本レポートの全内容を掲載するなど、積極的に開示を行います。

<http://www.aoineon.com>

外部サイトでもレポートの閲覧が出来ます。

- ・CSR JAPAN
- ・CSR 図書館 .net
- ・環境 goo CSR レポートナビ

Facebook ページでは、CSR活動をタイムリーに公開しています。

⑦ アオイネオン CSR 特設 WEB サイト

アオイネオンのCSRをより詳しくわかりやすくお伝えしています。

<http://www.aoineon.co.jp>

⑧ 本レポートへのご意見、お問い合わせ

静岡本社 管理部 TEL:054-282-1221

FAX:054-285-5089

企業概要

社名 アオイネオン株式会社
創業 昭和26年8月
設立 昭和32年1月
資本金 5,750万円
従業員数 60名（男子48名・女子12名）
*2014年11月現在

代表取締役社長 横山 巖

工場 静岡工場 東京工場

業務内容 ネオン・広告塔・館内サイン
企画・設計・施工・検査診断



静岡本社・工場

〒422-8076
静岡市駿河区八幡2-11-11
TEL 054-282-1221



大阪支店(本町サミットビル3F)

〒541-0057
大阪市中央区北久宝寺町4-3-5 3F
TEL 06-6281-3621



東京本社・工場

〒146-0082
東京都大田区池上3-6-18
TEL 03-3754-2111



福岡営業所

〒810-0012
福岡市中央区白金1-17-18
TEL 092-523-3660

Top Message



美しい景観実現のため、 持続可能な街づくりの率先垂範

CSRレポート2014の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

2005年にCSR委員会を設置してから10年を機に、その成果と課題をご報告いたします。

弊社のモットーは「嘘をつかない、正直な仕事」であり、安全で高品質、環境に配慮した製品の提供を使命としてきました。

この姿勢は、CSRにより磨きがかけられ、社員も成長することができました。それは、ISOを含めたCSRを自社のみで継続させるために、社員全員が分担して関わることになったからです。それが結果として「全社を挙げての取り組み」として昇華したのだと思います。

しかし、会社としての自己満足に終わっていないか、もっと広い視点で何をすべきかを、考える必要があったのではないかとの反省があります。

屋外広告物が景観に及ぼす影響は大きなものです。弊社は『美しい景観の創出』を目指し、コンプライアンスを徹底してきました。しかし、全国の屋外広告物は70%以上が違反であり、長年にわたり野放しの状態です。「アオイネオンは違法な看板を作りません」と言うだけでは、この現実は変わりようがありません。美しい景観の創出を目標とするからには、社会に向けて何らかの行動が必要でしょう。

屋外広告物の適正化と街づくりを持続可能にする条件を挙げます。

1. 全ての制作業者がコンプライアンスを責務、誇りと思う業界の意識を形成すること
2. 順法かつ景観に配慮した広告を掲出することの意義を、広告主が理解し賛同すること
3. 市民が、わが街、わが故郷の景観を大切な財産と考え、それを監視する厳しい眼を持つこと
4. 景観形成に関わる行政の指導監督が、実行力をともなうこと

これらの実現のため、声をあげ積極的に関わっていきます。そのためには、それに相応しい会社にならなければなりません。業界のリーダーを目指し、地域の中小企業を代表するCSR企業になり、行政と一体となって協働し、率先垂範をもって持続可能な街づくりに貢献していきます。この活動を「リーダーシップのCSR」として、新たな目標とします。

ほんの小さな一歩を踏み出したばかりですが、皆様に信頼して頂ける企業であり続けるよう、社員一同、心をひとつにして努めてまいります。

代表取締役社長

横山 巖

コミュニケーションツールのご紹介

アイネオンは、さまざまなかたちでステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを進めています。

CSR 活動について

CSR 特設 web サイト



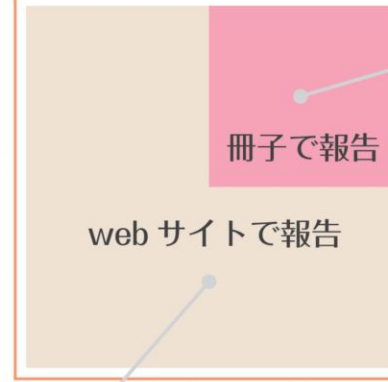
URL

<http://www.aoineon.co.jp>

アイネオンの CSR に関する情報を幅広く紹介しています。

大きい

社会からの期待



大きい

総合的な情報について

Facebook



Facebook ページで CSR 活動をタイムリーに公開しております。

Twitter



新しい CSR コミュニケーションの試みとして Twitter を開設しました。

ホームページ



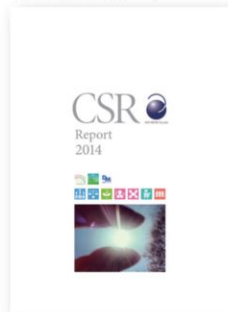
URL

<http://www.aoineon.com>

アイネオンに関する情報を幅広く紹介しています。

CSR 活動について

CSR レポート



アオイネオンが果たす社会的責任について紹介するレポートです。

製品・サービスについて

アオイネオンショーケース



施工事例や新商品・サービスに関する情報を紹介しています。

業務許認可・資格について

ライセンスレポート



ライセンスレポート
「建設業許可」編
「屋外広告業」編

お客様に安心してご発注して頂くために、工事に必要な許認可や資格についてご説明しております。

C・O・S[®] パンフレット



「C・O・S[®]」に関する情報を詳しく紹介しています。

企業活動全般について

会社案内



アオイネオンの目指す企業像、事業の現状を紹介する会社案内です。

看板ドクター[®] パンフレット



「看板ドクター[®]」のサービスに関する詳しい情報を紹介しています。

アオイネオンの CSR について

本レポートでは、アオイネオンの CSR を大きく二つに分けてご紹介します。
企業として社会的責任を果たすための基本的な取り組み『CSR Standard』と、
アオイネオンならではの積極的な取り組み『CSR Challenge』です。
私たちは二つの CSR を通じて、社会から支持される「価値ある企業」を目指します。

CSR Challenge

事業活動を通じて社会的課題解決に貢献するための積極的な取り組みです。



COSTREE



C・O・S®

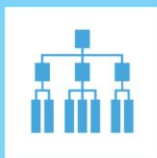


診断管理レポートシステム

CSR Standard

社会的責任を果たすための基本的な取り組みです。

ISO26000 「7つの中核主題」



組織の統治



公正な事業慣行



環境



労働慣行



人権



お客様への対応



コミュニティへの参画
および
コミュニティへの発展

目次

CSRレポート2014について	01
企業概要	01
TOPメッセージ	02
コミュニケーションツールのご紹介	03・04
アオィネオンのCSRについて	05
目次	06

CSR Challenge 目次	07・08
------------------	-------



COS TREE



C-O-S® カーボン・オフセット・サイン



診断管理サポートシステム

カーボン・マーケット EXPO2014	09
しずおか未来の森サポーター	10
Fun to Share・ふじのくにエコチャレンジ・地球温暖化防止活動コンテスト	11
グリーンチャリティリレーマラソン	12

『省エネ × オフセット』で継続的な環境配慮を実感	13
看板の省エネ改良	14
第三者によるカーボン・オフセットの証明	14
ご採用事例	15・16

看板ドクター®	17
看板の劣化状況	18
見えない内部の状況を検査・診断	18
内視鏡カメラにより確認された腐食状況	18
独自の検査システムでお客様の負担を軽減	19
法令チェックを怠りません	19
看板マネジャー®	20
「より多くの情報」を「より分かりやすく」、「誰にでも」	20

CSR Standard 目次・2014年CSR行動計画	21・22
コンプライアンス方針に基づく企業活動の推進	23
社内体制	23
経営方針発表会	24
CSR委員会	24
「企業倫理に関する方針」「行動規範」の制定	24
報告・相談への対応の流れ	24
ライセンスレポートによるご説明	25
建設業許可と専任技術者	25
屋外広告業の登録	25
情報セキュリティ	26

環境マネジメントシステムへの取り組み	27
社内環境教育の実施・テレビ会議を採用	27
アオィネオンの環境方針	28
主な環境影響と保全活動	28
2013年度 環境目標に対する実績	29
環境会計	30

安全衛生委員会 2013年度目標と結果	31
安全衛生委員会の主な活動と組織体制	31
アオィネオン安全大会	32
安全パトロール	32
作業環境測定	32
緊急事態への対応	32
AED設置	33
人材育成の考え方	33
「資格取得支援制度」で社員のプロフェッショナル化を支援	33
表彰制度	34
基本的な人権の尊重に対する取り組み	34
ワーク・ライフ・バランスの推進	34

品質管理に関する監査	35
「資格・教育プロジェクト」による人材育成	35
アオィネオンの品質方針	36
すべてのプロセスで品質保証を徹底	36

森下小学校 工場見学	37
共同違反広告除去活動	37
「小さな親切運動」	38
「使用済み切手の収集活動」	38
「エコキャップ運動」	38



組織の統治



公正な事業慣行



環境



労働慣行



人権



消費者課題



コミュニティへの参画 及び コミュニティへの発展



未来をカタチにする
『COS TREE』



企業のブランディングを
通じて、より貢献性の高い
環境保全活動を実現します。



「安全・安心」そして
「適正」な屋外広告物で
持続可能なまちづくりへ。





Action 1

未来をカタチにする『COS TREE』

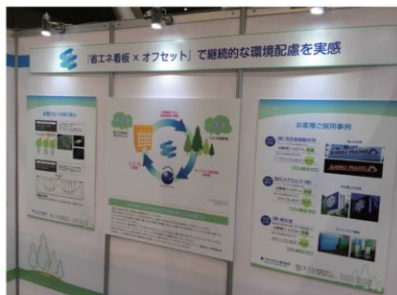
「この先も私たちが暮らす社会が豊かなものであってほしい」一人ひとりの思いや行動が集まり、やがて大きな森になる。私たちは、社員によるボランティア活動やチャリティへの参加、NPO や自治体と連携したイベントの参加など、CSR 活動の幅を広げて行きます。

『地球温暖化防止 × 地域貢献ビジネス』 の新しいカタチ

カーボン・マーケット EXPO2014

3月4日 東京国際フォーラムで開催された環境展示会

「カーボン・マーケット EXPO2014」にアオイネオンがブースを出展しました。環境省では、2012年より、カーボン・オフセットの取り組みだけではなく、様々な分野で行われる地球温暖化防止対策の未来を考えるイベントとして『カーボン・マーケット EXPO』を開催しています。

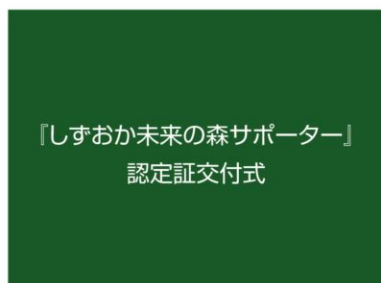


展示ブースでは「『省エネ × オフセット』で継続的な環境配慮を実感」をテーマに「C・O・S® (カーボン・オフセット・サイン)」の特徴を分かりやすくお伝えしました。今回、はじめての出展でしたが、およそ 100 名のお客様が弊社ブースに足を運んでくださいました。お客様とのコミュニケーションを通じ「C・O・S® (カーボン・オフセット・サイン)」を知っていただくと共に、今後取り組むべき課題を発見することが出来ました。

オフィスでできる森づくり

しずおか未来の森サポーター

平成26年6月7日『環境月間 県民大会』にて、静岡県知事より、新たに企業の森づくりをサポートする企業・団体への認定証が交付されました。アオイネオンは69番目の「しずおか未来の森サポーター」として認定されました。



CSR活動の一環で、地域と環境に貢献できる活動として取り組みを始めました。授与式では副知事から認定証を授与され、身の引き締まる思いでした。また、他の企業・団体の活動事例も知ることが出来、今後の取組みの参考になりました。このサポーター認定を機に、これからも少しずつですが、活動の範囲を広げていきたいと思っております。

『間伐に寄与する紙』の使用事例

2013年12月	2014年3月	2014年7月	2014年8月
<p>カーボン・マーケット EXPO2014 のブースで配布したパンフレット</p> <p>14.375kg</p>	<p>看板ドクター。のパンフレット</p> <p>14.375kg</p>	<p>コンプライアンスマニュアル</p> <p>19.125kg</p>	<p>『C・O・S。(カーボン・オフセット・サイン)』の営業用パンフレット</p> <p>110.00kg</p>

ふじのくに 森の町内会
間伐に寄与する紙

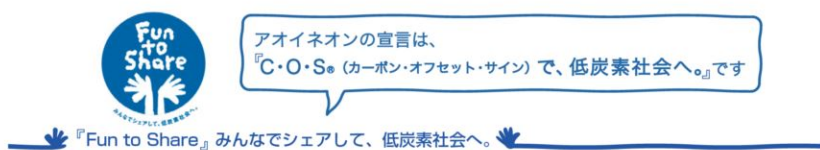
アオイネオンは、静岡県の豊かな森林づくりをサポートしています。この『ふじのくに森の町内会』の紙を使うことにより、林地に捨てられる間伐材を資源として活用するのに協力しています。



良き企業市民としてできること ～低炭素社会への実現に向けて～

気候変動キャンペーン「Fun to Share」への参加

「Fun to Share」は、地球温暖化防止に向けた、低炭素社会を実現するための知恵や技術をみんなで楽しくシェアしようという取り組みです。



県民運動「ふじのくにエコチャレンジ」への参加

「ふじのくにエコチャレンジ」は、地球温暖化防止のために、2011年からスタートした“静岡県のみんなのチカラ”で行動をしていこうという参加型の県民運動です。

エコチャレンジ ACTION + 2014



「地球温暖化防止活動」コンテスト

「平成26年度 環境大臣表彰」に応募しました。



環境省では、平成10年度から、地球温暖化対策を推進するための一環として、毎年、地球温暖化防止月間である12月に、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、その功績をたたえるため、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を行っています。

「低炭素杯 2015」にエントリーしました。



多種多様な地球温暖化防止に関する活動（低炭素活動）を全国から集め、発表・表彰を通して、取組のノウハウや情報を共有してつながりを深め、地域のベストプラクティスを全国に展開する「しくみ」と「場」です。

「第4回 カーボン・オフセット大賞」にエントリーしました。



本大賞は、カーボン・オフセットの意義と取組への理解を社会全体に広く浸透させることを目的とし、「低炭素社会の実現に向けた優れた取組」を行う団体を表彰するものです。

みんなで参加！チャリティイベント

グリーンチャリティリレーマラソン



Aチーム瀬選手（ユニホームデザイン作成風景）



オリジナルユニホーム完成！



Aチーム（営業）

櫛をつないだ 12 時間

193 周（236.42km）完走！

コミュニケーション不足が問われる昨今

『櫛をつなぐ』ことで、社員同士の距離を縮めようとチャリティリレーマラソンに参加しました。

選手をはじめ、多くの社員が応援にかけつけ、悪天候のなかでしたが、全員が一丸となり、12時間、193周、236.42kmを完走することが出来ました。

製造チームと営業チームに分かれてチームを組みましたが、ゴールでは、大きな達成感と一体感に包まれました。

選手からは『次回の開催が待ち遠しい』という声も。次回も参加したいと思います。



Bチーム（製造）



アンカー胴上げ

グリーンチャリティリレーマラソンでは、2つのチャリティを実施しています。

①東京をみどりでいっぱいにする活動

参加者全員の合計周回数 × 1 円
を（公財）東京都公園協会に寄付します。

②東日本大震災の被災地復興を支援するための活動

サブイベントや会場各所に設置される募金箱で
集めた金額を、被災地に寄付します。



選手&応援団



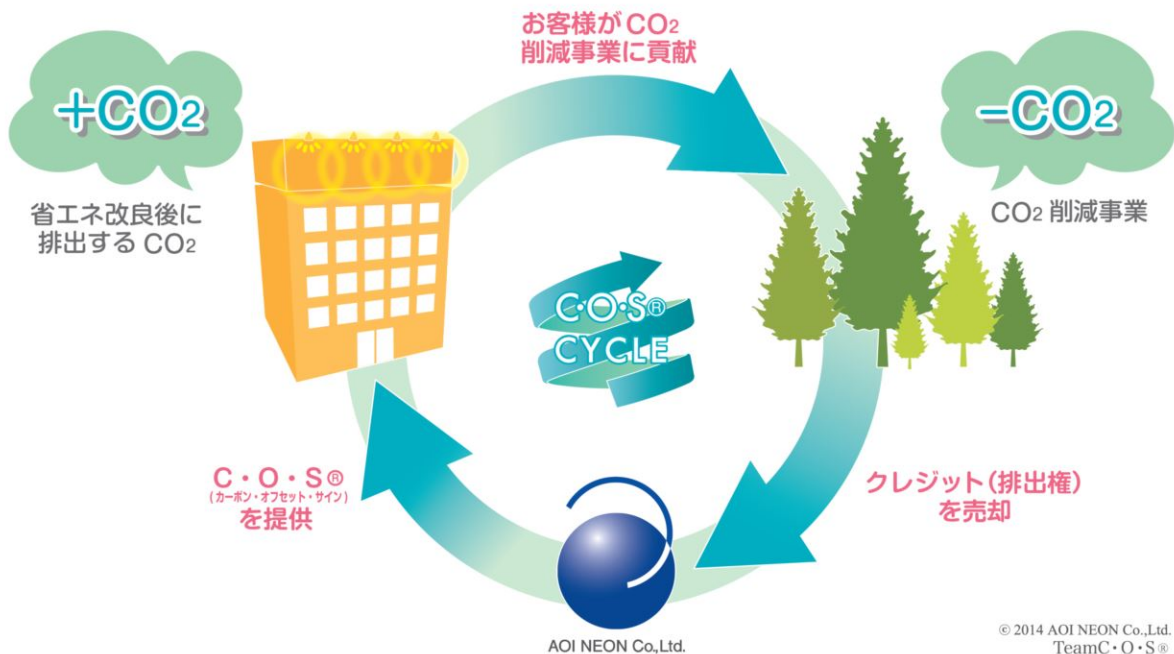
Action2

企業のブランディングを通じて、
より貢献性の高い環境保全活動を実現します。

都市景観に配慮した看板の色や形態などのあり方を考えながら、“いかに環境負荷を下げていくか”を重視した製品づくりを通じて、お客様満足の上昇と社会的課題を解決することを目指しています。

C・O・S®(カーボン・オフセット・サイン)

『省エネ×オフセット』で継続的な環境配慮を実感



© 2014 AOI NEON Co.,Ltd.
TeamC・O・S®

看板は昼夜を問わず情報伝達機能を担っています。夜間は看板を点灯することで街並みを明るくし、都市の活性化や治安の維持にも役立っています。しかしながら、地球温暖化問題や震災後の節電の影響もあり、夜間の看板照明についても可能な限りの省エネが求められています。そこで、私たちは、看板照明にて街を彩りながらも、電力の使用を最小限に抑えたいうえで、それでも使用しなければならない電力を起源とするCO₂をオフセット(相殺)するC・O・S(カーボン・オフセット・サイン)をお客様にご提案していきます。

看板の省エネ改良

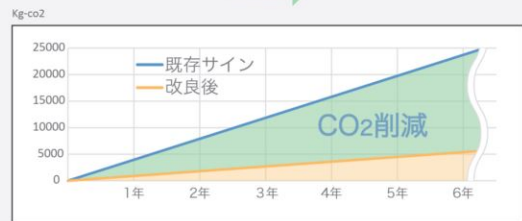
看板に使用する光源に省電力、長寿命のLED照明を採用し、省エネ設計で改良しました。

消費電力を大幅に削減します。



CO₂排出量を大幅に削減します。

既存サイン	改良後
1年間の消費電力量 6,701.4kwh	1年間の消費電力量 1,852.74kwh
1年間のCO ₂ 排出量 3.18t-CO ₂	1年間のCO ₂ 排出量 0.88t-CO ₂



※当社比較
※1日6時間点灯
※排出係数2012年度関西電力

第三者によるカーボン・オフセットの証明

第三者機関より、カーボン・オフセット証明書を発行します。

- 省エネに取り組んでいるか？
- CO₂の排出量が正しく算出されているか？
- 使用された排出権（クレジット）が正当なものか？



※ A
2014年11月に累積オフセット量が1000トンを達成しました。
詳細はアオイネオン CSR 特設 WEB サイトにてご案内しています。

第三者意見



静岡県地球温暖化防止活動推進センター スーパーバイザー
静岡大学人文社会科学部准教授(環境政策)

水谷 洋一様

環境省は、カーボン・オフセットを「自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等（クレジット）を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実現すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせる」と定義していますが、長い定義のわりには一番大事な点が抜けているような気がします。それは、「継続すること」です。有名な環境マネジメントの国際規格である「ISO14001」の本質が「環境負荷の継続的な低減」であるといわれているように、環境負荷を低減する取り組みは「継続」することが最も重要です。

この点でも、アオイネオン様さんの「C・O・S[®]」（カーボン・オフセット・サイン）の取り組みは、評価に値すると思います。多くのカーボン・オフセットの取り組みが一過性のイベントや単発の商品で終わっている中で、アオイネオン様さんは幅広い商品ラインナップでカーボン・オフセットを行っており、それが過去4年間継続されて、累積オフセット量が1000トンを超えています。また、その取り組みをカーボン・マーケット EXPO、カーボン・オフセット大賞、低炭素杯、環境省の気候変動キャンペーン Fun to Share、ふじのくにエコチャレンジ（静岡県）等で積極的にPR なさっています。2013年レポートへのコメントで私は「自らの価値ある取り組みをより多くの人に知ってもらうことは、もう一段深い社会貢献になります」と述べさせていただきましたが、それを実践していただいていることも、アオイネオン様さんの取り組みのさらなる前進ではないでしょうか。

今後とも、「C・O・S[®]」を通じたカーボン・オフセットの取り組みが広がっていくことを期待します。



ご採用事例

case 1 株式会社資生堂 様

C・O・S® (カーボン・オフセット・サイン) プロジェクト

(株)資生堂と全国小売店と弊社の共同プロジェクトとして、平成 22 年 5 月よりスタートしました。

小売店の店頭に設置する電飾看板を、老朽化による更新の際に、点灯に伴う温室効果ガスを相殺できるカーボン・オフセット・サインに順次入れ替えています。国内全 47 都道府県に展開し、平成 26 年 2 月末までの 4 年間で、設置台数は 3,400 個超のオフセット事例を生んでいます。

看板内部の反射効率を改善し、蛍光灯
本数の削減により

消費電力 約33% 削減

省エネ改良後の排出CO₂

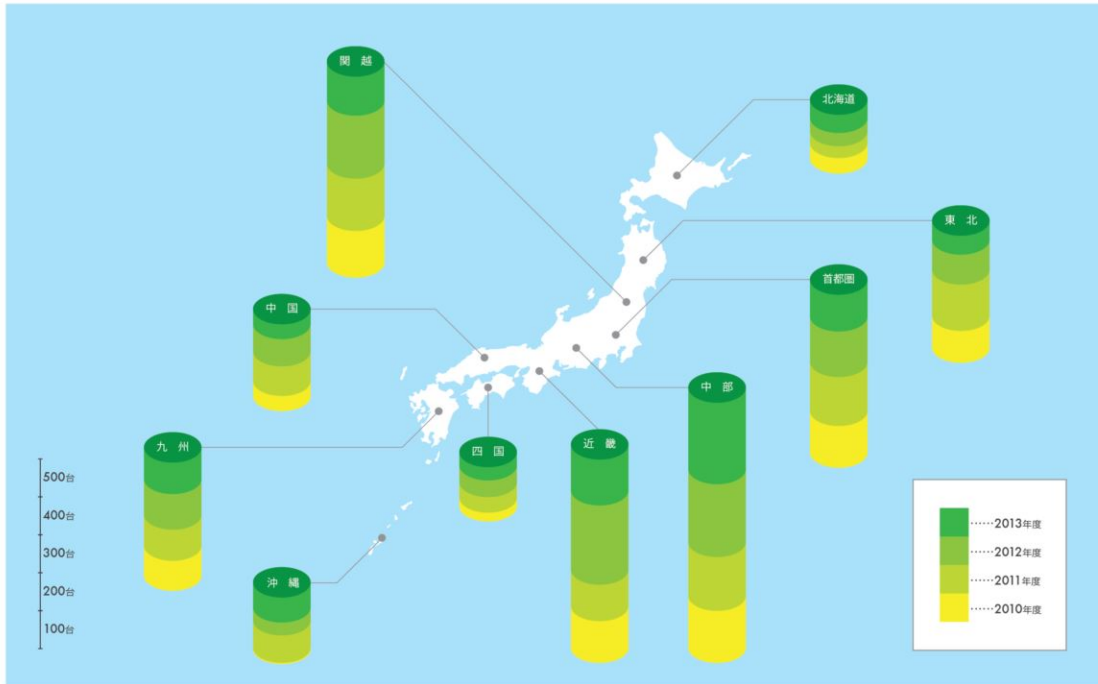
897t-CO₂をオフセット

CO₂排出ゼロ



チェーンストア看板

資生堂CS看板(C・O・S®)設置台数とCO₂オフセット量



4年間累計台数

3,448台

4年間累計オフセット量

= 897.86t-CO₂

スギの木のCO₂年間吸収量

64,133本分



※2014年2月28日現在

case 2 株式会社河合楽器製作所 様

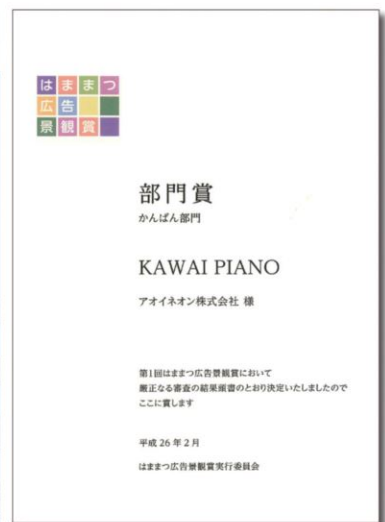
地方都市における低炭素活動の普及に貢献

浜松駅前の屋上広告塔リニューアルに伴い、カーボン・オフセット・サインをご採用いただきました。地元浜松市が主催する『はままつ広告景観賞』では、都市景観に配慮したサインの色や形態などのあり方に加え、環境配慮が評価のポイントとなり「かんぱん部門」での受賞に至りました。今回の受賞は、広告主である企業による温室効果ガスの削減努力と共に、カーボン・オフセットの取り組みを可視化するきっかけとなりました。また、「CO₂ 排出ゼロの看板」として注目され、広告業界ならびに地元行政に大きなインパクトを与え、地方都市におけるカーボン・オフセットの普及促進に大きく貢献しました。

リニューアルでLED採用により
消費電力 約87% 削減

省エネ改良後の排出CO₂
11.07t-CO₂をオフセット

CO₂排出ゼロ



case 3 雪印メグミルク株式会社 様

LED 採用により消費電力を約 91%削減

社名変更の際に本社屋上広告塔リニューアルに伴い、カーボン・オフセット・サインをご採用いただきました。

光源に LED を採用することで、リニューアル以前と比較して約91%の消費電力を削減しました。リニューアル以降5年間使用に相当する CO₂ 排出量はカーボン・オフセットにより相殺しました。

リニューアルでLED採用により
消費電力 約91% 削減

省エネ改良後の排出CO₂
22t-CO₂をオフセット

CO₂排出ゼロ



本社屋上広告塔



Action3

「安全・安心」そして「適正」な屋外広告物で
持続可能なまちづくりへ。



都市の景観を形成するうえで重要な柱のひとつであり、私たちの身近な情報伝達手段である屋外広告物。管理が適正になされていない看板や、著しく老朽化した看板は、私たちに危害を及ぼすこともあります。私たちはお客様に安心して看板を掲出していただき、景観形成と持続可能な街づくりに貢献できるサービスをご提供します。

看板診断システム『看板ドクター[®]』

屋外に設置されている看板は、長い間風雨に晒され、鉄部に錆が発生して腐蝕していきます。特に看板内部の腐食は、通常の目視調査だけでは発見できないケースが多く欠陥が判明したときにはすでに落下や倒壊事故が起きていたということも考えられます。

看板を長期的に良好な状態で維持する為には定期的にその現状を正確に把握する必要があります。

看板診断システム『看板ドクター』は、訓練された検査員が様々な検査機器や特許取得の検査方法によりお客様の看板を検査いたします。

その結果、通常の目視調査に比べ調査の精度が格段に高くなり、看板の劣化状態や欠陥を早期に把握することが可能になります。



ドクターカー



検査員

看板の劣化状況

外観からは想像できない内部鉄骨の腐食が進行している場合があります。

看板を長期的に良好な状態で維持するためには、定期的にその現状を把握する必要があります。



屋外広告塔下端鉄骨



屋外広告塔主要構造材



袖看板ブラケット鉄骨



袖看板内部鉄骨



ボール看板ブラケット



自立看板ベースプレート

見えない内部の状況を検査・診断

検査機器により外観からは判断できない部分の状況を確認します。

特許取得の検査システムで、より安全に短時間で検査し、お客様の負担を減らします。

内視鏡カメラスコープ



手元操作で6m/mのヘッドが思いのままに向きを変え、看板内部のあらゆる箇所を抜群の機動力で検査します。シャッター速度を変える事で暗い場所でも露出を確保できます。

赤外線サーモセンサー



分電盤などの配線不良や圧着不良を確認します。不良箇所の加熱状況が一目でわかります。

マイクロスコープ



溶接箇所のクラックや塗装の劣化状況など目に見えない細かな症状を見つけます。

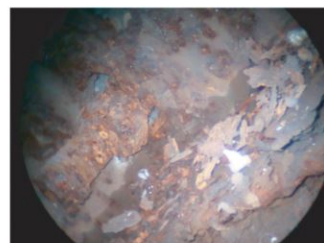
内視鏡カメラにより確認された腐食状況



袖看板内部鉄骨



ブラケット内部鉄骨



アンカーボルト



独自の検査システムでお客様の負担を軽減

当社オリジナルの特許取得の検査システムで、より安全に短時間で検査し、お客様の負担を減らします。

アンカードクター（アンカーボルト引抜き検査）

特許第3779722号 商標登録第503991号

既存アンカーボルトに特殊検査リングを装着し、締め付けることで発生するひずみを測定します。看板を取り外さずに引き抜き検査が可能です。



ツリーテスター（埋設基礎検査）



特許第4440331号
商標登録第5290427号

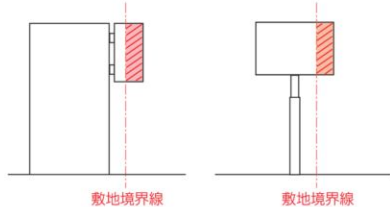
設計図や構造計算書が無くても、基礎の診断が可能です。

法令チェックを怠りません

適用される各種法令及び法令遵守状況を確認し適正な状態で看板掲出を維持します。

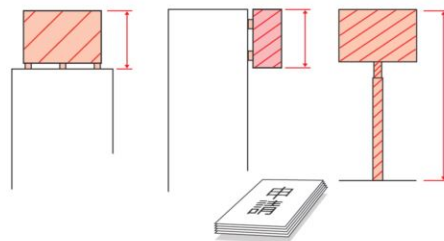
看板が道路上に突き出ていませんか？

突出看板の場合、敷地内から突き出る場合は「**道路占用許可申請**」の届出が必要です。
（屋上看板の場合は、**壁面より突き出ること自体がNG!**）
他に、設置する高さの制限もあります。（道路法第32条）より



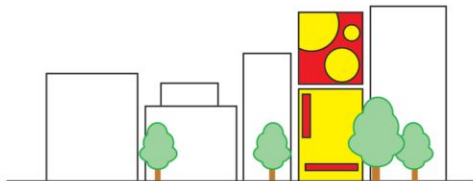
看板の高さは大丈夫ですか？

看板の高さが4mを超えた場合は「**工作物確認申請**」による構造の審査が必要です。（建築基準法第88条）より



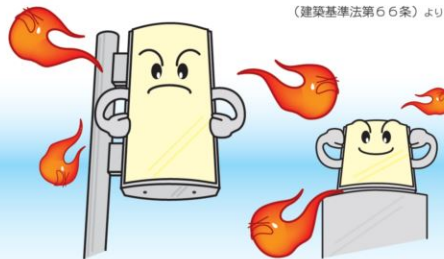
看板の色合い・大きさは大丈夫ですか？

都道府県で定められた「**屋外広告物条例**」・「**都市景観条例**」によって、届出が必要な場合があります。
地域によっては、色合い・大きさなどが制限されます。



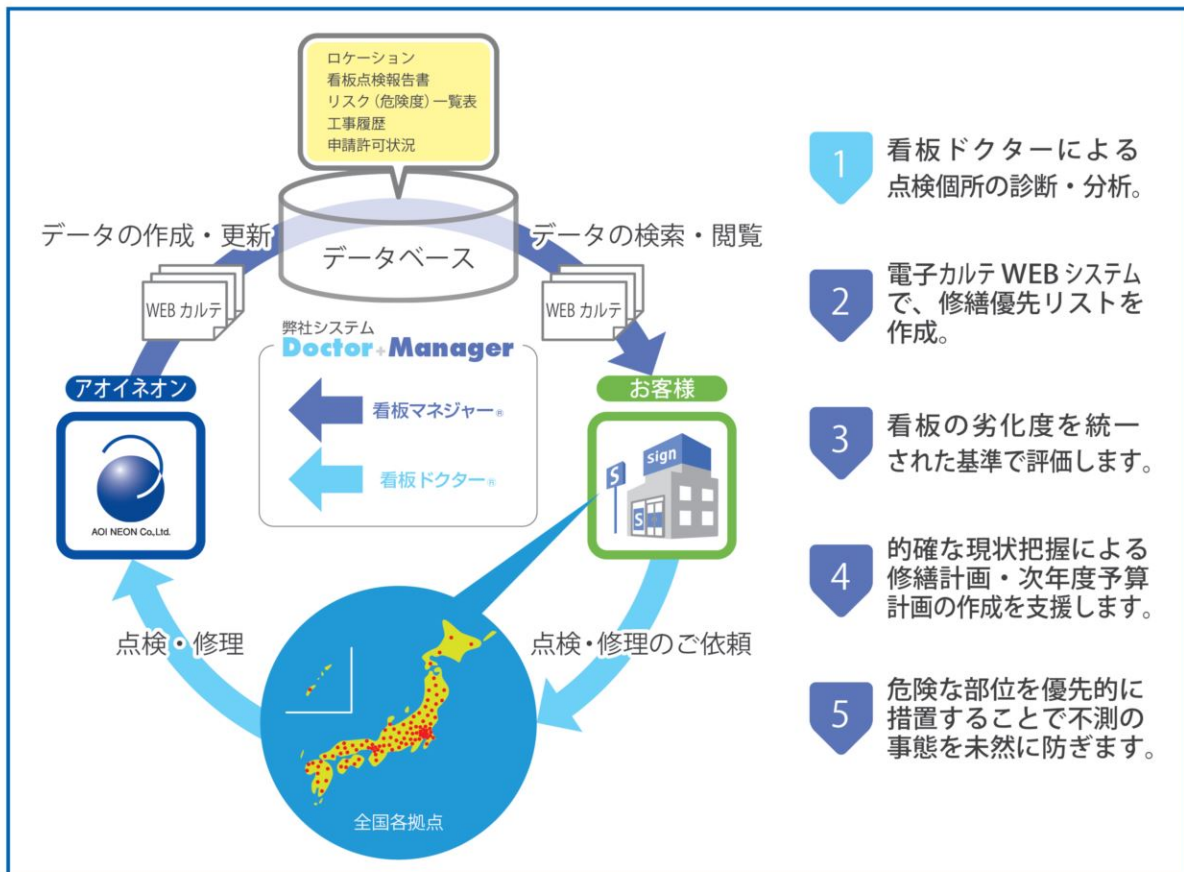
防火地域の規制をご存知ですか？

防火地域内にある看板、広告等で、建築物の屋上に設けるもの、又は高さ3mを超えるものは、主要部分を不燃材料で造るか、又は不燃材料で覆わなければなりません。（建築基準法第66条）より



電子カルテ閲覧システム『看板マネジャー[®]』

看板の管理に特化したクラウド型の電子カルテ閲覧システムで、看板のリスク管理を支援する新しいサービスです。
 看板の劣化状況や法令の許可更新等に関する情報基盤を確立し、スピーディーな情報共有を可能にするシステムです。



- 1 看板ドクターによる点検個所の診断・分析。
- 2 電子カルテWEBシステムで、修繕優先リストを作成。
- 3 看板の劣化度を統一された基準で評価します。
- 4 的確な現状把握による修繕計画・次年度予算計画の作成を支援します。
- 5 危険な部位を優先的に措置することで不測の事態を未然に防ぎます。

「より多くの情報」を「より分かりやすく」、「誰にでも」

物件一覧 登録済みの物件を一覧表示。

リスク管理 アイテム別に危険度を一覧表示。

申請管理 更新期限や手数料などの申請状況を一覧表示。

工事履歴 物件に対する工事履歴を一覧表示。

ロケーション 物件ごとに、アイテム写真の拡大表示、詳細の参照、更新が可能。

絞込検索 絞り込み検索により、必要な情報を瞬時に閲覧可能。

CSR Standard

社会的責任を果たすための基本的な取り組み

ISO26000 「7つの中核主題」



組織統治



公正な事業慣行



環 境



労働慣行



人 権



消費者課題



コミュニティへの参画
および
コミュニティへの発展



2014年 CSR 行動計画

	取り組み項目	重要達成指標 (KPI)	目標	結果
	コンプライアンス方針に基づく企業活動の推進	①CSR推進室 (CSR委員会) の設置、運営	①運営の見直し	①運営体制を整備
	コンプライアンスマニュアルの制定、啓蒙	①倫理委員会によるガバナンスの強化	①実態にあった体制の構築	①倫理委員会の体制見直し
	ライセンスレポートによる工事に必要な許可の説明	①お客様への説明実施	①ライセンスの維持、説明実施率100%	①ライセンスの維持、説明実施率100%
	業務に必要な許可取得と専任技術者の配置	①届出、許可取得、専任技術者配置の維持管理	①遵法状態を維持する	①遵法状態を維持
	知的財産の保護 (ISO27001 情報セキュリティ)	①ISO27001の認証取得	①東京本社での認証取得	①2015年3月認証取得予定
	景観・環境に配慮した製品を提供	①カーボン・オフセット・サインの普及	①ISO環境目標として達成する	①目標未達成 ※詳細はP29参照
	ISO14001 環境マネジメントシステムへの取り組み	①CO2排出量の削減 ②産業廃棄物の削減	①②ISO環境目標として達成する	①②東京本社のみ目標達成 ※詳細はP29参照
	環境側面に関する情報開示	①目標に対する実績、環境会計の情報開示	①情報開示の継続	①情報開示の継続
	サプライヤーに対する環境教育 (要請) 実施	①サプライヤーの環境意識向上	①実施率100%	①実施率100%
	社内における環境教育の実施	①従業員の環境意識向上	①実施率100%	①実施率100%
	安全な職場環境づくり	①重大な交通事故防止 ②重大な労働災害防止	①②安全衛生目標として達成する	①目標達成②目標未達成 ※詳細はP31参照
	安全衛生推進活動	①安全パトロール、KYミーティング実施	①危険作業、事故を防止する	①危険作業、事故を防止
	サプライヤーに対する安全衛生教育実施	①サプライヤーの安全衛生意識向上	①安全大会での啓蒙	①安全大会にて啓蒙実施
	緊急事態への対応	①緊急事態への対応準備	①緊急事態への準備 (避難訓練)	①防災訓練への準備 (避難訓練実施)
	作業環境測定	①正常な作業環境の維持	①適正環境の維持	①適正環境の維持
	人材育成	①資格取得支援	①支援制度の継続	①支援制度の継続
	ワーク・ライフ・バランスの推進	①労働時間の短縮 (ノー残業デーの実施)	①施策の見直しによる実施率の向上	①改善の余地あり
	人権尊重への取り組みの継続	①コンプライアンス教育による倫理綱領の周知徹底	①採用後の定期的な教育実施	①採用後の定期的な教育実施
	サプライヤーに対する健全な労働環境の意識向上	①サプライヤーにおける適正な労働環境の実施	①安全大会の実施	①安全大会の実施
	人権侵害を救済する仕組みづくり	①社内相談員の設置 (コンプライアンスマニュアル)	①窓口として機能する仕組み構築	①社内及び社外の相談窓口の設置
	国連グローバル・コンパクト署名によるCSRへの社内認識強化	①国連グローバル・コンパクトへの署名 (参加)	①署名の検討	①検討中
	ISO9001 品質マネジメントシステムへの取り組み	①出荷前検査における不良品の削減 ②クレーム件数の削減	①②ISO品質目標として達成する	①目標達成②大阪支店未達成
	サプライヤーに対する品質教育実施	①サプライヤーへの教育実施	①実施率100%	①実施率100%
	製品・サービスの品質に関する教育	①定期社内勉強会の開催による意識向上 ②品質に関する教育 (方針、目標、手順)	①②実施率100%	①②実施率100%
	CSRレポートの発行	①CSRレポート発行によるステークホルダーとのコミュニケーション	①スケジュールの改善	①12月初旬発行 (昨年は下旬)
	SNSによるCSR活動情報の発信	①SNS、WEBサイトを活用したCSR活動報告	①社内に向けての情報発信を含めて実施	①SNS、CSR特設サイト開設、社内報の活用
	地域活性化活動への参画	①違反広告物除去活動への参加 ②小さな親切運動への参加 ③エコキャップ運動への参加	①②③継続的に参加	①②③継続的に参加

組織統治・公正な事業慣行

Organizational Governance · Fair Operating Practices

高い倫理観に基づいて行動することにより
社会から信頼される企業であり続けます。

Point

- ▶ アオイネオンの従業員全員が共通の価値・行動の基準で業務を遂行できるよう「倫理綱領（コンプライアンスマニュアル）」を制定しています。
- ▶ 全ての事業所において専任技術者を配置し、事業に必要な許可を取得しています。
- ▶ 『情報セキュリティ基本方針』のもと、情報資産保護・管理強化に取り組んでいます。

コンプライアンス方針に基づく企業活動の推進

コンプライアンス方針 (2004年12月制定)

1 法令・ルールを守り、地域社会に貢献しよう

私たちは顧客、取引先、株主等を含む幅広い社会との健全で良好な関係を維持するとともに法令や社会的規範社会的良識に基づいた企業活動を行い、地域社会発展の一翼を担います。

2 お客様に喜ばれる努力をしよう

私たちはお客様がサインに期待する情報伝達機能を実際に果たすとともに、お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性の確保を実現します。

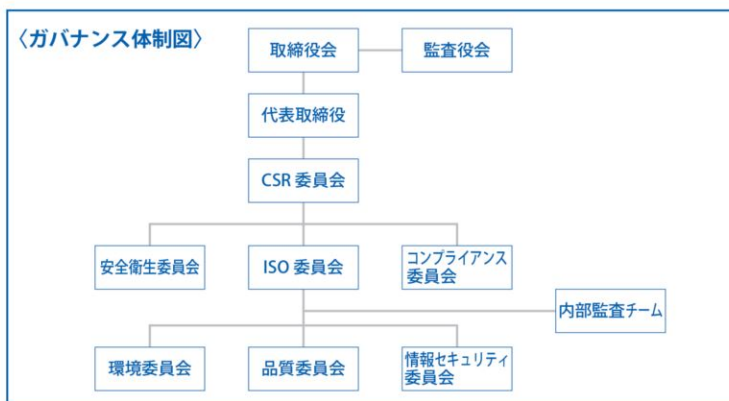
3 みんなで創ろう笑顔のある職場

私たちはすべての人々の人権を尊重します。また一人ひとりが互いに信頼できる健全な職場環境をつくります。

4 一人ひとりの心がけ健康づくり安全作業

私たちは社員一人ひとりが心身ともに健康で、安全に働くことができる、事故や災害のない職場づくりを目指します。

社内体制



1. CSR 委員会：社内への CSR 取り組み方針や施策などの浸透を図るとともに、CSR への取り組みに関する企画立案、関係部署への提言、計画の進捗管理、CSR 関連情報の収集と社内外への情報発信などを行う。

2. コンプライアンス委員会：コンプライアンス体制の構築、方針の維持・管理を行う。法令遵守状況の定期的なモニターと法令遵守施策の審議、諸問題に対する部門横断的な観点での検証、社員に対する教育、啓蒙活動を行う。

3. ISO 委員会：環境・品質・情報の3部門からなり、ISO マネジメントシステムの方針及び目標の維持・管理を行う。



経営方針発表会



アオインン経営方針と中長期の戦略への取組みについて全従業員が共通の認識を持てるように毎年、経営方針発表会を開催しています。

CSR委員会



CSRを推進する組織としてCSR委員会を設置しています。CSRのテーマについて全社横断的に連携をとるため、ISOの推進部門が中心となり、計画の策定から進捗管理まで主体的に動ける体制を構築しています。

「企業倫理に関する方針」「行動規範」の制定

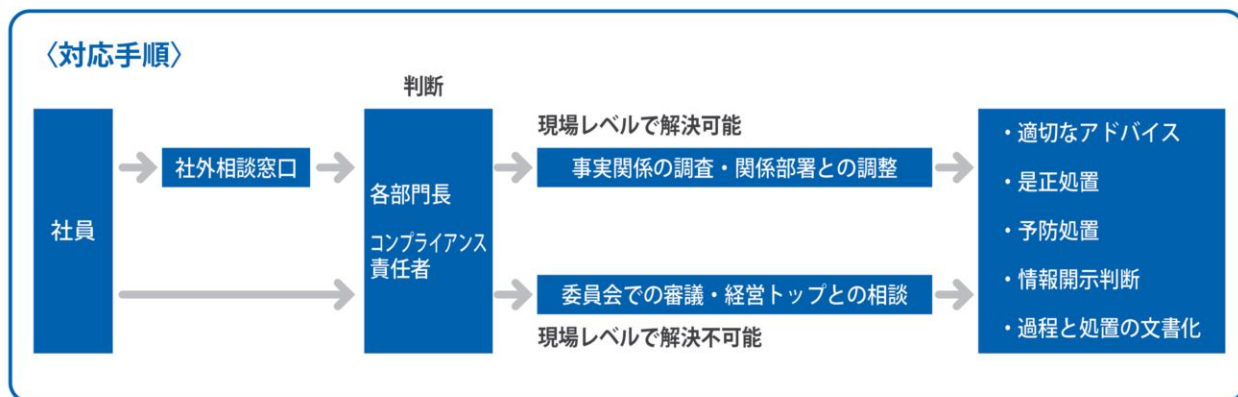
当社では2005年に「コンプライアンス方針」を制定し公正かつ適切な経営を実現し、企業市民として社会的責任を果たすことに取り組んできました。また、コンプライアンスの徹底には、一人ひとりが、自らの行動をコンプライアンスの観点から確認して、業務に取り組むことが必要です。CSR委員会を中心に論議を重ね、行動規範を定めた「倫理綱領」を作成し全従業員に配布するとともに教育を実施し、CSR経営の重要性と、その土台となるコンプライアンス意識の浸透を図りました。



倫理綱領(コンプライアンスマニュアル) 第二版

報告・相談への対応の流れ

コンプライアンス責任者、各部門長は、適宜、社員からの相談に応じ、適切なアドバイスを与える。また、倫理綱領や各種法令遵守から逸脱する行為があるとの報告を受けた場合、以下により対応する。





ライセンスレポートによるご説明

お客さまに安心してご発注して頂くために、工事に必要な許認可や資格について事前にご説明しております。

また、「ライセンスレポート」により弊社の許認可取得状況、専任技術者、有資格者等の有無についてもご確認いただけます。



ライセンスレポート「建設業許可」編、「屋外広告業」編

建設業許可と専任技術者

個人・法人などの形態や、商社・代理業などの業種を問わず、500万円以上の建設工事を請負う場合は、本社・支店・営業所など全ての拠点で建設業許可が必要です。建設業許可には、28種の業種があり、工事を行なう場合、その物件の主要な部分に該当する建設業許可が必要となり、該当する種類以外の建設業許可では、業務を行なえません。

アイネオンでは、本社支店全ての事業所で、以下の建設業許可を取得しており専任技術者を常駐させています。

建設業許可一覧

建設業の種類	広告業として請負いする工事内容	建設業の許可番号
鋼構造物工事業	鋼材を加工又は組立し工作物(広告物本体)を築造する工事	特-24 第19713号
内装仕上工事業	館内サインを設置する工事	
建築工事業	建築工事業全般	般-24 第19713号
とび・土工工事業	工作物(広告物)の基礎工事 足場の組立工事 工作物の解体工事 重量物の運搬設置	
塗装工事業	塗装を工作物(広告塔の鉄骨など)に塗付する工事 フィルムシートや出力シートなどを広告物に貼付けする工事	
電気工事業	電材を設置又は取替える工事 (ネオン管、LED照明、投光器など)	
板金工事業	広告塔等の表示板面の取替え工事 チャンネル文字の設置や取替え工事	般-24 第19713号

技術者 (静岡・東京・大阪)

一級建築士	1名
二級建築士	3名
一級建築施工管理技士	6名
二級建築施工管理技士	11名
二級電気工事施工管理技士	5名

2014年10月 現在

屋外広告業の登録

●全国 108ヶ所全ての都道府県、政令市、中核市で屋外広告業の登録済

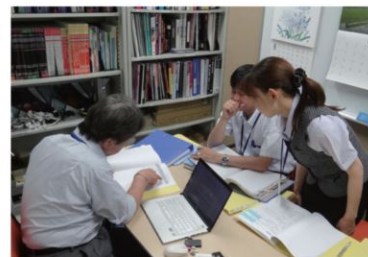
屋外広告を施工する者は、工事を行う場合の自治体への登録がなければ、施工ができません。元請、下請に関わらず全ての業者に登録が義務付けられており、建築工事などの一部として屋外広告を設置する業務を請け負った場合でも登録が必要です。弊社では、すべての地域において各事業所ごとに業務主任者を専任し登録が完了しております。

●各事業所に在籍する屋外広告士 (静岡・東京・大阪) 22名

※その他、各事業所に屋外広告物講習会修了者(8名)が在籍しております。 2014年10月 現在

情報セキュリティ

アオイネオンでは、技術や情報、お客様や社員に関わる情報は貴重な資産であるとの認識のもと「情報セキュリティ基本方針」を策定し、情報保護・管理強化に取り組んでいます。「情報セキュリティ委員会」のもと情報セキュリティ管理責任者と推進事務局を設置しています。活動の推進にあたっては、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格（ISO/IEC27001）に基づく管理体制を構築し、継続的なレベルアップを図っています。



ISO審査の様子

情報セキュリティ基本方針（2010年9月制定）

① 目的

当社は情報を的確に伝えるサイン、お客様の心が伝わるサインを造り続けること、それを経営理念として「心、情報、光にカタチに」のキャッチフレーズに込めています。当社は屋内外における情報伝達メディアであるサインの製作にあたり、取り扱う情報資産の適切な保護対策を実施する事により、お客様の信頼確保及び事業損失を最小限に留めることを目的として、この「情報セキュリティ基本方針」を定めます。

私たちは、ISO27001に準拠した「情報セキュリティマネジメントシステム」を構築し、お客様からお預かりした情報をはじめ、当社が取り扱う情報を重要な資産として保護・管理する事でセキュリティに関するインシデント（事件・事故）の防止を図ります。

② 情報セキュリティの定義

情報セキュリティとは、機密性、完全性及び可用性を確保し維持することをいう。

- (1) 機密性：情報を漏えいや不正アクセスから保護すること。
- (2) 完全性：情報の改ざんや間違いから保護すること。
- (3) 可用性：情報の紛失・破損やシステムの停止などから保護すること。

③ 適用範囲

【組織】：アオイネオン株式会社

【業務】：サインボード並びにそれに付随する銘板の設計、建設、据付、メンテナンス及びサインボードの検査、診断業務

【資産】：上記業務、サービスに関わる書類、データ、情報システム

④ 実施事項

- (1) 適用範囲の全ての情報資産を脅威（漏えい、不正アクセス、改ざん、紛失・破損）から保護するための情報セキュリティマネジメントシステムを確立、導入、運用、監視、見直し、維持及び改善するものとする。
- (2) 情報資産の取り扱いは、関係法令及び契約上の要求事項を順守するものとする。
- (3) 重大な障害または災害から事業活動が中断しないように、予防及び回復手順を策定し、定期的な見直しをするものとする。
- (4) 情報セキュリティの教育・訓練を適用範囲すべての従業員に対して定期的を実施するものとする。

⑤ 責任と義務及び罰則

- (1) 情報セキュリティの責任は、代表取締役が負う。そのために代表取締役は、適用範囲の従業員が必要とする資源を提供するものとする。
- (2) 適用範囲の従業員はお客様情報を守る義務があるものとする。
- (3) 適用範囲の従業員は、本方針を維持するため策定された手順に従わなければならないものとする。
- (4) 適用範囲の従業員は、情報セキュリティに対する事故及び弱点を報告する責任を有するものとする。
- (5) 適用範囲の従業員が、お客様情報に限らず当社が取り扱う情報資産の保護を危うくする行為を行った場合は、社員就業規則に従い処分を行うものとする。

⑥ 定期的見直し

情報セキュリティマネジメントシステムの見直しは、環境変化に合わせるために定期的を実施するものとする。



環境

Environment

地域環境の保全は21世紀を生きる企業の使命です。

Point

- ▶ ISO14001 に従って外部審査員による環境監査と、社内監査員による定期監査を実施し、環境マネジメントシステムの適正な運用に努めています。
- ▶ 事業所ごとに環境計画を策定し、従業員の意識向上と環境活動の改善を図っています。

環境マネジメントシステムへの取り組み

当社が環境保全に関わる活動を推進するに当たり、環境に関連する方針や目標を設定し、これらの達成に向けて取り組んでいます。

ISO14001規格に従い環境マネジメントシステムを運用し、定期的に外部審査、内部監査を実施しています。外部審査では毎年の定期審査、3年毎の更新審査でシステムの適合性と有効性の審査を受けています。



外部審査機関による審査の様子

社内環境教育の実施

従業員一人ひとりの環境への意識を向上させ、自ら果たすべき役割を認識し行動できるようにすることを狙って、環境教育・啓発を行っています。



Interview

東京本社 営業部

高橋 歩

社内でも節電や廃棄物の分別など環境への取り組みをしていますが、営業をしてもお客様からの照明のLED化等の依頼も多く環境への関心の高さを感じています。スーパーなど商業施設では電気の使用量も多く節電を意識することも多いようですが、集客のために店舗を暗くすることはできないので、消費電力の小さいLEDへの切替等の需要が高いようです。エネルギーの削減が環境の保護だけでなく、お客様の経費削減、イメージの向上等、プラスになることが多いので、積極的にご提案していきたいと思っています。

テレビ会議を採用 CO₂ 排出削減

出張経費の削減にとどまらず、人の移動に関わるCO₂排出量の削減や、会議資料電子化による紙資源の利用低減を目的としてテレビ会議を採用しています。



アオイネオンの環境方針 (2001年6月制定 2005年8月改訂)

アオイネオンは2001年に「環境問題改善プロジェクト」をスタートさせ、「アオイネオン環境方針」のもと環境保全活動に着手しました。また2009年には国際環境規格ISO14001を全事業所・工場で認証取得するなど、事業活動に伴い発生する様々な環境負荷の低減に向けた取り組みを進めてきました。今後も「全ての事業決定において環境に配慮する」という新たな方針のもとさらに積極的な取り組みを進めていきます。

特に下記項目を環境目的として取組んでまいります。

1. 資源・エネルギーの節減
2. グリーン購入の推進
3. 産業廃棄物の削減

この方針は組織のために働くすべての人に周知し、広く一般に開示します。



東京・静岡・大阪の全事業所・工場で ISO14001 の認証を取得しています。

基本方針

当社は屋内外における情報伝達メディアであるサインの製作にあたり、すべての事業決定において地球環境への配慮を実現し、社会的責任を果たすことを目指します。そのために環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防と環境パフォーマンスの向上に努めます。また、環境関連法令、その他の要求事項を遵守し、地域社会との協調に努めます。

主な環境影響と保全活動

製品を製造しお客様に提供するまでに、資源やエネルギーの消費、産業廃棄物の発生や CO₂ の大気への排出など環境に負荷を与えています。私たちは事業活動にともなう環境への負荷を正しく認識し、持続可能な地球環境のために省エネ・省資源、廃棄物削減などの環境保全活動を推進していきます。





2013年度 環境目標に対する実績

日々の活動から可能な限り環境への負荷を低減させるため、環境目標を明確化するとともに、目標に定量性を持たせています。未達成の項目に対しては改善目標を設定し具体的な対策を講じます。目標達成した項目も合わせ継続的な環境負荷の低減に取り組んでいます。

静岡本社

期間：2013年8月～2014年7月（1年間）

項目	基準年	目標値	実績値	評価
産業廃棄物削減	2012	0.137 m ³	0.187 m ³	×
資源・エネルギー使用量の削減	2012	195.7 kg-CO ₂	266.0 kg-CO ₂	×
グリーン購入の推進	2012	80%	91.9%	◎
	2012	100%	75.6%	×
法規制の遵守	—	—	—	◎

東京本社

期間：2013年8月～2014年7月（1年間）

項目	基準年	目標値	実績値	評価
産業廃棄物削減	2012	0.084 m ³	0.062 m ³	◎
資源・エネルギー使用量の削減	2012	126.2 kg-CO ₂	75.6 kg-CO ₂	◎
グリーン購入の推進	2012	60%	64%	◎
	2012	100%	93%	×
法規制の遵守	—	—	—	◎

大阪支店

期間：2013年8月～2014年7月（1年間）

項目	基準年	目標値	実績値	評価
産業廃棄物削減	2012	0.019 m ³	0.154 m ³	×
資源・エネルギー使用量の削減	2012	143.0 kg-CO ₂	181.0 kg-CO ₂	×
グリーン購入の推進	2012	60%	67%	◎
	2012	100%	—	対象なし
法規制の遵守	—	—	—	◎

環境会計

アオイネオンでは環境会計を、環境経営の定量的指標のものさしとして捉え、環境保全活動に関わる投資額や費用額、また環境保全効果や経済効果を把握して評価することにより、効果的な取り組みを図っています。

環境保全コスト

2013年度の環境保全コストは投資、費用あわせて3,883,499円を投入しました。

(円)

分類 (注1)	投資額 (注2)	費用 (注3)	事例
地球環境保全、公害防止コスト	0	154,429	浄化槽点検清掃、作業環境測定値他
資源循環コスト	0	2,225,067	廃棄物処理委託、省資源
管理活動コスト	0	1,444,003	環境教育、廃棄物管理、保管庫、書籍他
社会活動コスト	0	60,000	地域貢献
環境損傷対応コスト	0	0	なし
合計	0	3,883,499	

(注1) 環境省「環境会計ガイドライン」における環境保全コストの分類
 (注2) 投資額とは環境保全を目的とした設備投資
 (注3) 費用には環境保全活動に費やした維持運営管理費等が含まれます。

対象期間：2013年8月1日～2014年7月31日
 対象サイト：静岡本社、東京本社、大阪支店
 参考書：環境省環境会計ガイドライン他

環境保全効果

効果については事業実績に対する削減量を基準として前年度より環境負荷がどれだけ改善されたかを捉えています。産業廃棄物に関しては22.2 m³の増加、電気使用量に関しては59,520kwhの削減、燃料消費量に関しては11,929リットルの削減となり、経済効果としては2,340,610円となりました。

内容	削減効果				経済効果	
	※1 2012年度	※2 2013年度	削減量	単位	内容	金額(円)
産業廃棄物の削減	143.5	165.7	▲22.2	m ³	分別による削減	▲222,000
事業所内使用電気量の削減	222,569	163,049	59,520	kwh	節電による削減	1,011,840
燃費消費量の削減	45,073	33,144	11,929	リットル	エコドライブによる削減	1,550,770

※1 2013年度事業実績に換算した値 ※2 2013年度実績



人権・労働慣行

Human rights · Labor practice

安全で快適な職場環境づくり

Point

- ▶ 定期的実施状況を評価し、フォロー・改善を実施する事で安全衛生水準の向上を図っています。
- ▶ 災害時に可能な限り円滑な活動が行えるよう、総合的な防災対策を実施しています。
- ▶ 社員一人ひとりの人格や個性を尊重しつつ、豊かさと達成感が実感できるような人事制度や労働条件の維持向上に努めます。

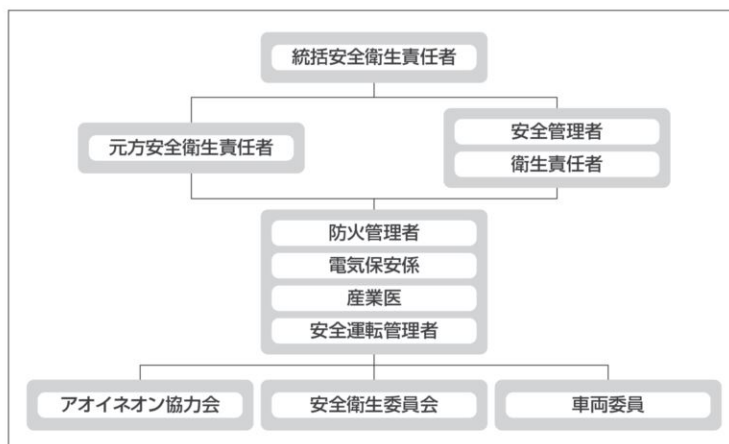
安全衛生委員会 2013年度目標と結果

当社における労働災害は、長年にわたる安全活動のなかで低減してきています。継続的な改善を目指すため、安全衛生目標を設定し、当該目標において一定期間に達成すべき到達点を明らかにし目標達成の度合いを客観的に評価できるようにしています。残念ながら達成出来なかった目標については、原因を究明し次年度の改善に結びつけます。

	2013年度目標	施策	2013年度結果
交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数 0件 ● 軽微な事故発生件数 2件以下 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 過去3年間に事故を起こした社員を対象に教育を実施する。 ▶ 事故発生後、委員会で原因を究明、対策を検討、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数 0件 ● 軽微な事故発生件数 4件
物損・労働災害	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数 0件 ● 軽微な事故発生件数 4件以下 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 過去3年間に事故を起こした社員を対象に教育を実施する。 ▶ 事故発生後、委員会で原因を究明、対策を検討、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数 0件 ● 軽微な事故発生件数 3件

期間：2013年8月1日～2014年7月31日
対象：全拠点

安全衛生委員会の主な活動と組織体制



安全衛生委員会

毎月1回

安全パトロール

毎月1回

KY (危険予知) ミーティング

現場作業開始前

産業医工場巡視

毎月1回

作業環境測定

年2回

アオイネオン安全大会



6月27日 東京本社



6月27日 静岡本社

協力会社の皆様と弊社従業員と一緒に、より安全な職場、事故の無い現場の実現に取り組むためのコミュニケーションの場として『アオイネオン安全大会』を開催しています。

安全パトロール



KY(危険予知) ミーティング

定期的に各工事現場のパトロールを行っています。毎日の作業開始前のKY(危険予知)ミーティングと合わせて作業現場での安全確認を怠りません。

作業環境測定



塗装室空気汚染測定

労働安全衛生法により、有害な業務を行う屋内作業(粉じん・騒音・有機溶剤などの作業)について、作業環境測定を行う義務が課せられています。



Interview

福岡営業所 所長
堤 公孝

福岡営業所の工事の99%は、営業中のガソリンスタンド内での工事です。現場の特異性から、安全管理については、第三者災害の防止に特に留意しております。給油目的のお客様の安全な進入路の確保と、適切な誘導が必要です。それは我々工事関係者だけではなく得ません。そのためにはSSスタッフのご協力が欠かせませんので、事前の工事内容の説明・打合せ、すなわちコミュニケーションも安全管理の重要なポイントと考えております。

緊急事態への対応

火災や大規模地震などの緊急事態が発生した場合に備え、防災体制を定め運用しています。定期的な防災訓練及び防災設備の点検を実施し、緊急事態発生時に人的安全の確保及び円滑な防災活動を行えるように体制を整えています。



東京本社



静岡本社



AED の設置

AED を静岡本社及び東京本社に設置しました。AED とは日本語で「自動体外式除細動器」といい、「突然心臓が止まってしまって倒れた人」の蘇生に有効な器械です。実際に心臓の発作により倒れて亡くなる方は年間に3万人いるといわれています。社内だけでなく、近隣の急な事態にも対応できるよう考えて、設置の表示を屋外に掲示しています。



東京本社



静岡本社

人材育成の考え方

多様な個性を持つアオインオンの社員一人ひとりが、共通の価値観を持ち、事業そして社会に貢献できる人材に成長するため、様々な能力開発の機会提供に努めるとともに、公平・公正に評価される制度づくりに取り組みます。

人材教育の仕組みである「資格・教育プロジェクト」は、ビジネスパーソンとしてのベース・共通能力の育成、幅広い専門能力の育成、自己啓発支援等のプログラムで構成されています。

知識教育	技能教育	資格教育
<ul style="list-style-type: none"> ● 関係法令 ● 社内規定 ● ISO 品質・環境・情報 ● CSR・コンプライアンス ● 製品知識・構造知識 	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工管理 ● 販促 ● ビジネスマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工管理技士 ● 電気工事士 ● 屋外広告士 ● 建築士

「資格取得支援制度」で社員のプロフェッショナル化を支援

アオインオンは、社員一人ひとりがお客様により付加価値の高いサービスを提供できる“プロフェッショナル”となることを目指しています。その実現に向けた社員各人の自主的取り組みを支援する為、対象資格取得に成功した社員に受験費用の援助や報奨金を支給する「資格取得支援制度」を導入しています。現在、資格取得が業務に役立つと認定された48種類の資格取得を奨励しており、その取得難易度や業務への貢献度により支給額を設定しています。この制度が一層の自己研磨に励む刺激となり、多くの社員が資格取得に挑戦しています。

主な資格		
一級建築士	一級電気工事施工管理技士	あと施工アンカー第一種施工士
二級建築士	二級電気工事施工管理技士	あと施工アンカー主任技士
一級建築施工管理技士	第一種電気工事士	
二級建築施工管理技士	第二種電気工事士	
屋外広告士	ネオン工事士	

表彰制度

従業員(委託・パートを含む)に対し、会社の業績・知名度向上への貢献、国家資格等の専門能力が求められる資格を取得した社員を対象とした表彰制度があります。表彰制度を行うことで、会社と社員との信頼感、指導や教育によって改善することが出来ない自発的な意欲を高めることを目的としています。



永年勤続(20年)の表彰



全日本ネオン協会 標語入選の表彰



優良安全管理者の表彰

基本的人権の尊重に対する取り組み

人権の尊重に関する方針

アオイネオンは社員一人ひとりの人格や個性を尊重しつつ、豊かさや達成感が実感できるような人事制度や労働条件の維持向上を目指しています。「アオイネオン倫理綱領(コンプライアンスマニュアル)」では、法令順守はもとより、基本的人権を尊重し、あらゆる差別的取り扱いを受けない健全な職場環境を確保すること、問題発生時には迅速に調査し、被害者の救済と再発防止に向けた断固とした処置をとることを行動規範として明示しています。

個人情報保護

個人情報については、利用目的ごとに同意を得て取得・利用し、総務部門を中心に厳重に管理しています。コンピューターウィルスや不正アクセス等による情報の漏洩を未然に防ぐため、個人情報を扱う上で人権の尊重、安全への配慮に基づいた情報モラルの向上を図っています。

セクシャルハラスメント、パワーハラスメントの防止

アオイネオンでは「アオイネオン倫理綱領(コンプライアンスマニュアル)」で、役員・従業員の行動規範として、個人の多様な価値観・個性・プライバシーを尊重し、人種・宗教・性別・心身障害・年齢などに関する差別的言動や、暴力行為、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントを認めないことを定めています。

人権を尊重する為の教育

CSR委員会が中心となって「アオイネオン倫理綱領(コンプライアンスマニュアル)」を全社員に周知徹底しています。入社教育のみならず、年間教育プログラムにも自覚教育として組み込み、従業員への人権尊重意識の浸透を図っています。

ワーク・ライフ・バランスの推進

働き方の見直し

従業員一人ひとりが「より少ない時間で高い成果を生み出せる」環境を整えることは、企業にとって重要な取り組みです。業務改善や自己研鑽により創出した時間を更にインプットの時間として有効活用する、といった好循環を生み出し、仕事の生産性や質の向上につなげていく必要があります。週1日「ノー残業デー」を設定し時間外労働の削減に努めています。

内閣府が推進する『カエル！ ジャパン』キャンペーンに参加しています。

アオイネオンのスローガン『みんなで創ろう笑顔のある職場』のもと、働く人が仕事上の責任を果たそうとすると、仕事以外の生活でやりたいことや、やらなければならないことに取り組みなくなるのではなく、両者を実現できる職場づくりに取り組みます。



お客様への対応

Consumer issues

(消費者課題)

Point

- ▶ 東京・静岡・大阪の事業所・工場で ISO9001 の認証を取得しています。
- ▶ 内部監査と外部監査を定期的実施し品質保証体制の維持・改善を継続的にを行っています。
- ▶ 「資格・教育プロジェクト」により、しっかりとした知識や技能を備えた人材育成注力しています。

品質管理に関する監査

アオイネオンでは「お客様が満足する品質」を実現し続けるために、定期的に社内の監査チームによる内部監査及び社外の審査機関による外部監査を実施しています。監査の対象は、企画設計部門や製造部門に加え営業部門などが該当し、全事業所と工場を含んでいます。監査で発見された不適合は、品質管理責任者から経営層に報告され、業務の改善につなげています。



外部監査（東京本社）



外部監査（静岡本社）

『資格・教育プロジェクト』による人材育成



屋外広告士合格の表彰



高いスキルとモチベーションで、お客様にご満足いただける高品質な製品を提供するため、従業員の各種資格取得に積極的に取り組んでいます。『資格・教育プロジェクト』では、人材育成を目的として資格取得を支援しています。



Interview

静岡本社 企画設計部

瀧 英治

資格取得の動機は以前より取得しなかった資格でもあり、もう一度基礎知識を固める適切なタイミングだと感じたこと、より専門的な知識を習得して個人のスキルアップを図れるタイミングだと感じたことです。また、当社では「資格取得支援制度」が導入されており、そのサポートの充実が、チャレンジ意欲を芽生えさせたのも動機の一つです。今後はこの屋外広告士資格取得での知識を活かし、プロフェッショナルで誇りあるキャリア形成を実現していきたいです。

アオイネオンの品質方針

お客様に安全な製品を提供していくためには、製品の品質を管理するための仕組みの整備が不可欠です。当社では創業以来、独自の品質管理の仕組みを構築してきました。その仕組みをさらに強化するために 2001 年に品質方針を制定し、2009 年には全事業所で品質管理システムの国際規格である ISO9001 の認証を取得しました。また、外部審査機関による監査や社内の専門の担当者が各事業所の品質管理状態を確認する品質監査を毎年実施しています。この品質監査の機会を通じて、各事業所における品質改善事例の水平展開をおこない、全社を通じた品質の向上につながっています。

アオイネオン品質方針 (2001 年 8 月制定 2007 年 8 月改訂)

「アオイネオン株式会社の経営理念」

心、情報、光にカタチに

基本方針

1. お客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たします。
2. お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性を確保します。

私たちは「製品の品質」に加え「顧客満足」を重要視した「組織の質」の向上を実現するために、絶えず改善を続けます。

品質目標

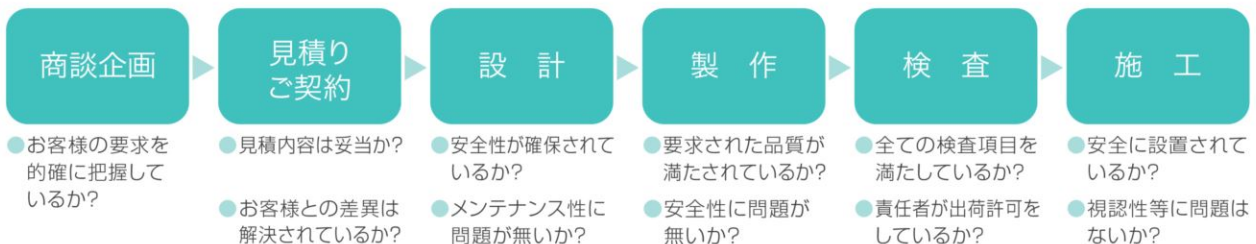
1. お客様満足度の向上
2. 高品質の製品づくり
3. 安全性と耐久性の確保
4. シェアの拡大



東京・静岡・大阪の事業所・工場で ISO9001 の認証を取得しています。

すべてのプロセスでの品質保証を徹底

アオイネオンの工場で製造される製品には、お客様ごと、物件ごとの製品仕様があり、ご要望ごとに 1 点 1 点異なる品質をつくり上げていくことが必要となります。アオイネオンでは営業・企画・設計から資材調達、製造、施工に至るすべてのプロセスで、全社員が常に「高品質の製品づくり」に取り組んでいます。





コミュニティへの参画 および コミュニティへの発展 Community involvement

『地域社会とのきずな』を大切により良い社会・地域づくりに貢献します。

Point

- ▶ 本年も違反広告物の共同除去活動、「小さな親切運動」のクリーン作戦に参加しました。
- ▶ エコキャップ運動では 20,696 個（ワクチン 24 人分）を提供しました。

森下小学校 工場見学

森下小学校3年生7名と先生が工場見学にいらっやいました。社会学習の場として、看板の組立工場やネオン管の製作現場の一部を見ていただきました。特にネオン管を曲げているところを実際に見られるのが大変好評でした。



工場内を見学している様子



いただいたお礼状

共同違反広告除去活動



2月13日 西新宿周辺



4月23日 天満橋周辺

2月13日 西新宿周辺
東京マラソン開催の違反簡易広告物（貼り紙等）の撤去作業を実施しました。

4月23日 天満橋周辺
関西ネオン工業協同組合主催の『かたづけたい』に参加しました。貼り紙などの違法広告物の除去や路上の清掃活動を実施しました。

『小さな親切運動』

毎年、『小さな親切運動』に参加しています。本年度は静岡市中心街でのクリーン作戦に参加しました。



2月1日 静岡市中心街



9月7日 静岡市中心街



『使用済み切手の収集活動』

本年度も心の国際交流事業『使用済み切手』の収集に参加しました。従業員が持ち寄った、使用済み切手を寄付しました。

収集された切手は、小さな親切運動県本部から(財)ジョイセフを通じて換金され、発展途上国の生活改善や医療支援のために活用されます。



『エコキャップ運動』

ペットボトルのキャップを分別回収し再資源化することにより、CO₂の発生抑制に寄与できると同時に、キャップの売却益で世界の子供たちにワクチンを届けます。

20,696個 寄与
(ワクチン24人分)

5年間の累計：180,876個 (ワクチン219.9人分)

2008年よりNPO 法人エコキャップ推進協会が推進する『エコキャップ運動』に参加しています。社員だけでなく多くの協力業者の皆様にも積極的に協力していただきました。



静岡本社



東京本社



Interview

大阪支店 支店長代理
宮永 恭二

これまでの活動により、貼り紙や捨て看板などは、かなり少なくなってきたと思いますが、まだまだ人目に付かないところに違法広告物が残っています。これからも街を綺麗にすることにより、自分自身の心も綺麗にする気持ちでこの活動に取り組んでいき、私達が活動している姿を通して地域の人達にもよい影響を与えられたらと思います。



ISO9001:2008 認証取得
ISO14001:2004 認証取得

アオインオン株式会社

一級建築士事務所 特定建設業許可（国土交通大臣）

ISO14001:2004（東京・静岡・大阪） ISO9001:2008（東京・静岡・大阪） 認証取得



この「ふじのくに森の町内会」の紙を使うことにより、林地に捨てられる間伐材を資源として活用するのに協力しています。



C・O・Sで、低炭素社会へ。
(カーボン・オフセット・サイン)
アオインオン株式会社は、「Fun to Share」に賛同しています。



【しずおか未来の森】サポーター企業として静岡県の豊かな森づくりに貢献しています。